

## New Crown 第16回 Lessons

### Lesson 16-1 : 助動詞 could 肯定文&否定文

今回学ぶのは、can の過去形である、助動詞の could についてです。could を使うと「～できました」「～できませんでした」「～できましたか」といったことを表すことができます。使い方は can の使い方が分かっているならば非常に簡単。なぜなら、基本的には

can の文章を作り、can を could に変えれば完成

だからです。まずは、could の肯定文 & 否定文について学んでいきましょう。

#### 【助動詞 could 肯定文&否定文：基本の形】

<肯定文> 主語 + could + 一般動詞の原形 (+ ~) .

(主語は～できました)

<否定文> 主語 + could not (couldn't) + 一般動詞の原形 (+ ~) .

(主語は～できませんでした)

<例> She could speak English well. (彼女は、上手に英語を話すことができました)

I could not (couldn't) run fast. (私は、速く走るできませんでした)

#### 【作り方】

ステップ 1 : 現在形 (can) の文を作る。

ステップ 2 : can を could に変える (cannot は、could not と 2 語になるので注意)。

<例 1 : 彼女は、上手に英語を話すことができました>

ステップ 1 : 現在形 (can) の文を作る。 → 「彼女は、上手に英語を話すことができます」

\_\_\_\_\_ She can speak English well. \_\_\_\_\_

ステップ 2 : can を could に変える。

\_\_\_\_\_ She could speak English well. \_\_\_\_\_

<例 2 : 私は、速く走るできませんでした>

ステップ 1 : 現在形 (can) の文を作る。 → 「私は、速く走るできません」

\_\_\_\_\_ I cannot (can't) run fast. \_\_\_\_\_

ステップ2 : can を could に変える。

I could not (couldn't) run fast.

## Lesson 16-2 : 様々なフレーズ⑳

### 1. against ~ = ~に対抗して / ~に反対して

<例> Are you against me? <あなたは私に反対なのですか>

#### [補足説明]

スポーツの試合などで「〇〇と対戦する」という場合、play against 〇〇 となる。

<例> We played against them. <私たちは、彼らと対戦しました>

### 2. A, B(,) and C = A, B, と C (3つ以上のものをリストする時に使う)

<例> I like pizza, hotdogs, and hamburgers.

<私は、ピザ、ホットドッグ、そしてハンバーガーが好きです>

#### [補足説明]

Bの後には、カンマを打たれることが多いが、打たない場合もある。また、リストが4つ、5つとなる場合は「最後から2番目の単語(,) and 最後の単語」となる。

<例> I like pizza, hotdogs, hamburgers, and steak.

<私は、ピザ、ホットドッグ、ハンバーガー、そしてステーキが好きです>

### 3. full of energy = エネルギーに満ちている / 元気いっぱい

<例> They are full of energy. <彼らはエネルギーに満ちています>

#### [補足説明]

日本語でいう「テンションが高い / ハイテンション」というのは、和製英語。英語では full of energy という。

### 4. do 〇〇's best = 〇〇の全力を尽くす / 〇〇のベストを尽くす

<例> I did my best. <私は、全力を尽くしました>

## 5. Above all, = 何よりも

<例> Above all, I love playing soccer. <何よりも、私はサッカーをすることが大好きです>

### 〔補足説明〕

基本的に文頭で使われる。above は「～の上」(例: fly above the trees 木の上を飛ぶ) という意味。all は「全て」という意味なので、above all の直訳は「すべての上」となり「すべての上 = 何よりも」と考えると理解しやすい。

## 6. change ○○'s mind = ○○の考えを変える / ○○の気が変わる

<例> That changed my mind. <それが私の考えを変えました>

### 〔補足説明〕

mind は「心 / 精神 / 気持ち」という意味。

## Lesson 16-3 : 助動詞 could 疑問文

助動詞 could の疑問文も、基本的に助動詞 can の疑問文の形と同じです。そのため、作り方としては Can ~? の疑問文を作ってから、Can を Could に変えてあげれば完成となり「～できましたか」という意味になります。また、Could you ~? で「～していただけますか (Can you ~? の丁寧な言い方)」という意味になります (ちなみに、Can I ~? (～してもいいですか) の丁寧な言い方は May I ~? となります)。

### 【助動詞 could の疑問文：基本の形】

Could + 主語 + 動詞の原形 (+ ~) ?

(「主語」は ~ できましたか)

Could you + 動詞の原形 (+ ~) ?

(~ していただけますか)

<例> Could he run fast? (彼は速く走ることができたのですか)

Could you open the window? (窓を開けていただけますか)

### 【作り方】

ステップ 1 : can の疑問文を作る。

ステップ 2 : can を could に変える。

<例 1 : 彼は速く走ることができたのですか>

ステップ 1 : **can** の疑問文を作る。→ 彼は速く走ることができるのですか。

\_\_\_\_\_ Can he run fast? \_\_\_\_\_

ステップ 2 : **can** を **could** に変える。

\_\_\_\_\_ Could he run fast? \_\_\_\_\_

<例 2 : 窓を開けていただけますか>

ステップ 1 : **can** の疑問文を作る。→ 窓を開けてくれますか。

\_\_\_\_\_ Can you open the window? \_\_\_\_\_

ステップ 2 : **can** を **could** に変える。

\_\_\_\_\_ Could you open the window? \_\_\_\_\_

**【疑問文の答え方】**

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

**Yes, 代名詞 could.**

**No, 代名詞 \*could not.**

\*could not をつなげた couldn't を使うのが一般的。

could で聞いているので could で答える。

can で答えないように注意。

<例> Could he run fast?

Yes, he can. =×

ただし、Could you ~? (~していただけますか) の疑問文の答え方は Can you ~? の疑問文同様、肯定の答えには Sure / Of course (もちろん) などが使われ、否定の答えには I'm sorry, I can't. (ごめんなさい、できません) といった表現が使われます。

<例 1> **Could he run fast?**

はい → **Yes, he could.**

いいえ → **No, he couldn't. (No, he could not.)**

<例 2> **Could you open the window?**

はい → **Of course.**

いいえ → **I'm sorry, I can't.**

そして、過去進行形の疑問文に、What や Where といった疑問詞を足す場合は、疑問詞を疑問文の前に足してあげれば OK です。

### 【疑問詞+couldの疑問文：基本の形】

疑問詞 + could + 主語 + 動詞の原形 (+ ~) ?

<例> What could you drink? — I could drink water and tea.

(あなたは何を飲むことができたのですか。 — 私は、水とお茶を飲むことができました)

Where could they go? — They could go to Osaka and Kyoto.

(彼らはどこに行くことができたのですか。 — 彼らは大阪と京都に行くことができました)

#### 【作り方】

ステップ1：疑問詞の部分（何、どこなど）に同じ種類の適当な単語を入れて疑問文を作る。

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

<例：あなたは何を飲むことができたのですか>

ステップ1：疑問詞の部分（何、どこ）に同じ種類の適当な単語を入れて肯定文を作る。

→ 「あなたは、水を飲むことができたのですか」

Could you drink water?

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

Could you drink what?

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

What could you drink?

### Lesson 16-4：様々なフレーズ①

1. ○○ realize, “文” = 「文」だと、○○ははっきり理解する / 「文」だと、○○は悟る

<例> I realized, “I love my job.”

<私は「私は、私の仕事が好き」だとはっきり理解しました>

#### 【補足説明】

“ ” は、日本語の「 」のような役割を果たす。また、文章の最後のピリオドは

“ ” の中に入るので注意。realize は「はっきり理解する / 悟る」という意味。realize 以外にも think / heard / say などの動詞もよく使われる。

<例> I thought, “He is not a good student.” (私は「彼は良い生徒ではない」と思いました)

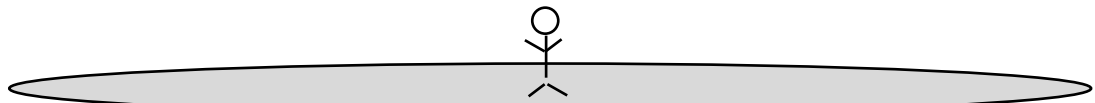
She said, “I don’t like you.” (彼女は「あなたは好きではない」と言いました)

2. in the world = 世界中で / 世界の

<例> He is a famous singer in the world. <彼は、世界中で有名な歌手です>

【補足説明】

world は「世界」という意味。基本的に「世界」は1つしかないなので、the world となる (the sun / the moon と同じ考え)。また「世界中で / 世界の」という場合は、「“世界”という広いエリアにいる」というイメージ (「市・国にいる」というイメージと同じ) のため、前置詞は in が使われる。



世界中 = 「世界」という広いエリアの中にいる

3. after ~ = ~の後に      before ~ = ~の前に

<例> He usually watches TV after dinner.

<彼は、たいてい夕食後にテレビを見ます>

I want to finish my homework before I go home.

<私は家に帰る前に宿題を終わらせたいです>

【補足説明】

after / before は「前置詞 (after / before + 名詞)」と「接続詞 (after / before + 文)」の両方の形で使われる。また、文頭に置いて After ~, / Before ~, という形でもよく使われる。

<例> After my practice, I called my mother. (私の練習の後で、私は母に電話をしました)

4. long hours (of ○○) = 長時間 (の○○)

<例> I don't work long hours. <私は、長時間働きません>

After long hours of work, I was very tired.

<長時間の労働の後、私はとても疲れていました>

【補足説明】

時間の長さを表す場合“for 時間の長さ” (例: for five years (5年間)、for three hours (3時間)) と前置詞に for が使われることがあるが、省略されることもある。

<例> 私は昨日 5 時間働きました。

I worked five hours yesterday. / I worked for five hours yesterday.

## 5. What's (What is) wrong? = どうかしたの (ですか)

<例> What's wrong? Are you OK? <どうかしたのですか。大丈夫ですか>


### 〔補足説明〕

「相手の体調をたずねる時」「相手が何か困っている様子の方」に使う表現。通常 What is と分けず What's と短縮形が使われる。wrong は「間違っている / よくない」といった意味。そのため、What's wrong? の直訳は「何がよくないのですか」となる。また、What's wrong with you? とすると「あなたはいったい何を考えているの?」（自分が理解できない行動を相手が取った時に使われる表現）と捉えられるので注意。

## 6. over there = あそこに / あっちの方に

<例> Let's go over there. <あそこに行きましょう>

### 〔補足説明〕

over は「～の上に (の・を) / ～をおおって / ～を超えて」という意味。  
「there よりも距離があるあそこ」と言いたい時に使われるフレーズ。また、come here (ここに来て) というフレーズも、少し距離のあるところにいる人に対しては、come over here ということができる。

<例> Can you come over here? (ここに来てくれる)

## Lesson 16-5 : 様々なフレーズ②

### 1. message for ~ = ～のためのメッセージ

<例> I have a message for you. <私は、あなたへのメッセージがあります>

### 2. have a passion for ~ = ～に情熱を持っている / ～が大好きである

<例> I have a passion for teaching children. <私は子供たちを教えることに情熱を持っています>

### 〔補足説明〕

「～することに情熱を持っている」という場合 “have a passion for 動詞 ing (動名詞)” の形が使われる。

### 3. a big fan of ○○ = ○○の大ファン / ○○が大好き

<例> I am not a big fan of baseball. <私は、野球の大ファンというわけではありません>

#### 〔補足説明〕

「あなたの大ファン」「彼女の大ファン」といったように、○○に代名詞が入る場合は、所有代名詞が入る。しかし、固有名詞が入る場合は、△△'s とはならないので注意。

<例> I am a big fan of yours. (私はあなたの大ファンです)

I am a big fan of Haruka. (私はハルカの大ファンです) <I am a big fan of Haruka's. = ×>

### 4. look ○○. = ○○に見える (○○には形容詞が入る)

<例> You look tired. <あなたは、疲れて見えます>

#### 〔補足説明〕

look は「見る」という意味だけでなく「(～に) 見える / (～のように) 思われる」という意味もある。

### 5. in the ○○th century = ○○世紀に

<例> This book was famous in the 20th century. <この本は、20世紀に有名でした>

#### 〔補足説明〕

「○○世紀」という場合「ある期間の中にいる」というイメージのため、前置詞は、in が使われる。「歴史上」という更に大きなくくりでも in history (history = 歴史) と前置詞は in が使われる。また、In the ○○th century, ～. のように、in the ○○th century というフレーズは文頭に置かれることも多い。

### 6. a little ~ = 少し (の) ~ / 少量の ~

<例> I am a little sleepy. <私は少し眠たいです>

I need a little water. <私は少しの水が必要です>

#### 〔補足説明〕

little は「幼い / 小さい (例 : a little girl 幼い女の子)」という意味もあるが、a little とすると「少しの / 少量の」という意味になる。